

総合的な学習の時間の実践

札幌市

総合的な学習
3年

本物体験が子供の活動を支える！

おいしく食べよう

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

「食」という魅力的なテーマを追究していくことで、自分の食生活を見つめ直します。「食べる」という体験的な活動を通して実感を伴った理解ができるよう、本物体験ができる活動を取り入れました。また、食品を生産している人とかかわる活動から、「食」に対する関心を一層高めていきます。

学習活動の流れ（25時間）

3年生という発達段階に配慮して、情報集めや、調査活動の計画に徹底的にかかわり、情報をもっている方を紹介しながら活動をすすめました。

友達と情報交換することで、自分の情報が価値付けられ、進む方向が見えてくるようにしました。

「食」について調べてみよう（7）

- ・製粉業
- ・調味料
- ・乳製品
- ・砂糖

もっと知りたくなったことを調べよう（11）

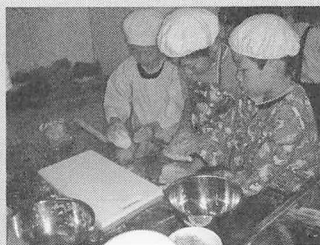
- ・スナック菓子
- ・デザート
- ・甘いもの
- ・製麺業
- ・野菜

わかったことを生かして、食べたり飲んだりしている物について考えよう（3）

調べたことをまとめよう（4）

- ・新聞
- ・図鑑
- ・作文
- ・ポスター

3年生の実態に合わせて、文字や言語だけの理解ではなく、体験的な活動や実感を伴った理解を与えることを考えました。



ラーメンを作ります

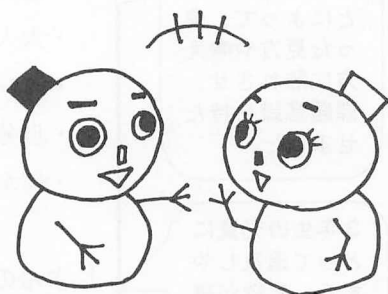
教材・活動の Point!

1. 体験の楽しさ、魅力が意欲を高める

バター作り、ゼリー作り、ポテトチップ作り、ラーメン・うどん作りなど、体験させること自体が子供の意欲を継続させる手立てとなりました。「食」というテーマと自分で作るという魅力が、3年生の意欲を高めます。

2. 他の課題とのつながりが見えてくる

それぞれの課題ごとに調べていることは、ただの調べ活動で終わってしまいます。情報を交流し合い、多面的に考えることによって客観性が生まれたり、他の課題とのチームとのつながりが見えたりしてきます。そのことが新たな見方や考え方をうむきつけとなりました。



3. 本物体験、本物情報の価値

様々な工場や施設、地域でその仕事に携わっている方とのかかわることで、子供たちは本物の体験や情報を得ることになりました。インターネットなどの資料だけではわからない「本物の情報」は、子どもの心を揺り動かし、価値の高いものになりました。

